

あなたも大切なひとりで！

—全国初のケアラー（介護者）手帳を発行—



少子高齢化の中、町内には介護や介助など家族で助け合っているケアラーの方々が多くいます。

しかし、ケアラーの中には、介護の責任から近所付き合いや外出などが少なくなったり、健康に不安を抱え、苦しんでいる方が増えています。

時にはゆっくりと自分の時間をもつために、地域の人などに少しお手伝いをいただくことがあっても良いのではないのでしょうか。

いま、介護は個人ではなく、社会の責任とされています。

このケアラー手帳は、社協がケアラーと地域をつなぐ接着剤となることに期待して、発行いたしました。

けっして、1人で悩まないで…。



現在、ケアラー手帳は、介護保険サービス利用世帯については、栗山町地域包括支援センターや介護保険事業所の協力で配付しております。

それ以外の世帯で、ケアラー手帳を希望される方には、無料で差し上げてありますので、下記までご連絡下さい。

◆申し込み先

役場住民福祉課 TEL：73-2222
社会福祉協議会 TEL：72-1322

くみやま 社協だより

2012
7.1発行
第87号

新役員をご紹介

(任期:平成24年4月1日
～平成26年3月31日)

任期満了に伴う社協の役員改選が去る3月23日の評議員会議で行われ新役員が決まりましたので、ご紹介いたします。



栗山町社会福祉協議会
会長 橘 一也



後列左より 吉田常務理事、細山理事、木藤理事、長崎監事、猪熊理事、梅津監事、坂口理事、島理事、永池理事、伊藤理事
前列左より 木内理事、岩田副会長、橘会長、椏澤副会長、斉藤理事

就任挨拶

平成24年4月1日付で、会長に就任しました橘一也です。

長く会長を務められた吉田輝雄前会長の後任を仰せつかり、責任の重さを痛感しているところであります。

さて、就任致しまして、3カ月が経過しましたが、その間各団体の会合に出席させていただきました。多くの方々が地域福祉推進のために貴重な時間と労力をかけて、真剣に取り組んでおられるお姿を拝見し、とても心強く感じております。

社協は、地域住民の生活実態や福祉課題を捉え、そのニーズ(要望)に基づき活動を住民の地域福祉の関心を高め、そこから

生まれる自発的な活動を基盤に活動を行うなど地域福祉を推進する役割があります。今日は、少子高齢化の進行や人口減少社会の到来、孤立死、介護の問題などその課題は多岐に亘っております。

そのために、各関係機関と連携を図りつつ、役員一丸となって取り組んで参りたいと思っておりますので、皆さまのご支援(協力)をよろしくお願い申し上げます。

最後に申し上げますが、今後とも社協の活動にご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、皆さまが明るく健康に暮らせる事を願って、就任のご挨拶とさせていただきます。

【役員】

会長 橘 一也(新任)	副会長 岩田 美春(再任)	常務理事 吉田 義人(再任)	理事 猪熊 友子(再任)	伊藤 由紀(再任)	島 信之(再任)	永池 武彦(新任)	木藤 浩二(再任)	細山 孝一(再任)	山内 勲(再任)	斎藤 幸浩(再任)	吉田 義人(再任)	岩田 美春(再任)	橘 一也(新任)
角田町内会連合会 佐々木 美之(再任)	立川町内会連合会 尾 憲(再任)	日出町内会 山内 正(新任)	雨煙別自治会 小泉 直(新任)	北学田自治会 上田 美(新任)	大井分自治会 上原 晃(再任)	三日月自治会 水本 秀(再任)	南角田自治会 吉原 英夫(新任)	山内自治会 横山 延一(再任)	栗山青年会議所 飯尾 隆(新任)	栗山商工会議所 松本 良美(再任)	民生委員協議会 後藤 忠弘(再任)	農協協議会 鳥村 正行(新任)	栗山地区連合会 花井 雅幸(新任)
栗山地区連合会 花井 雅幸(新任)	青少年育成会 佐藤 直樹(新任)	女性団体連絡会 大野 美代子(新任)	ボランティア連絡協議会 世羅 史子(新任)	栗山消費者協会 稲 男(再任)	栗山町老人クラブ連合会 西田 勉(再任)	ハローE.N.J.O.Y 田中 秀典(新任)	養護老人ホーム泉徳苑 赤沼 正三(新任)						

インタビュー

被災地支援ボランティアに参加して話をじっくりと聴いてくれる人が求められています

東日本大震災から1年以上が経過した中、6月8日から11日まで岩手県の花巻市と大槌町でのボランティア活動に参加された永井貞子さんと丸山俊信さんにお話を聞きました。

◆参加のきっかけは?

丸山さん
現地に行って、自分の目で確かめたかった。
でも、個人では現地に行く手段もわからないし、活動の内容がどのようなものなのかわからない不安がありました。ところが、団体で行けるので行こうと思いました。

◆活動を通して感じたことは?

丸山さん
昨年の9月にもボランティアに行っていたのですが、その時は被災された方とコミュニケーションをとる機会がなかったのですが、今回は、その機会があるボランティアに行きました。
心の中に1つの「タネ」ができました。
これは、何が繋がるかはまだわからないのですが、これから自分の中で育っていくような感じがします。また、被災地が新たなコミュニティをつくっていく中で、現代社会が、求める「まちづくり」や「コミュニティ」はどのようなものかを知りたいので、今後も継続してボランティア活動に参加しながら見ていきたいと思っています。

◆日程と活動内容

- 8日 苦小牧港からフェリーで青森県の八戸港へ
- 9日 八戸港から日本海沿いに被災地を見ながら岩手県花巻市へ移動
花巻市のとうわボランティアセンターへ
昼食を食べながら、花巻市に避難されている方と交流
- 10日 大槌町の仮設住宅で、炊き出しをし、おにぎりやジンギスカンを作り、仮設住宅の集会所で、入居者と交流
八戸港からフェリーで苦小牧港へ(11日到着)



永井 貞子さん 74歳 (湯地)



▲がれきが撤去された後、草がのび放題の現状

永井さん
テレビを見て、いつも泣いていました。
現地に行きたいけど、何が出来るだろう。私なんて役に立てないと思っっていました。丸山さんから団体で行くボランティアの話聞いて、ぜひ参加したいと思いました。

◆活動を通して感じたことは?

永井さん
ご主人を津波で亡くした方のお話しを聴きました。その詳細は、震災から1年以上たつて、やっと話せるようになったそうです。というのも、近所の同じ境遇の方に話すと、途中で「私の方がもっと...」「当時のことを思い出さずからやめて」と、最後まで話を聞いてくれることがなかったからだとのこと。
その方は「じっくりと話を聞いてくれてありがたう」と話すことで心身が軽くなつた感じがします」との言葉がありました。
被災地では「じっくりと話を聞いてくれる人」が求められていると感じました。

平成23年度社協事業報告・決算

5月23日の評議員会で決定しました前年度の事業報告と決算です。

1. 地域福祉活動の推進

- ・愛らぶ活動事業……………2町内会、9自治会
- ・ふれあいサロン事業……………5町内会、1町内連合会
- ・まちを美しくする花いっぱい運動……………花苗21,500本植栽
81町内会・自治会・団体等
- ・ふれあい広場くりやま……………約1,000名
- ・知って得する福祉なんでも講座(出前)……………21件
- ・赤い羽根共同募金運動実績額……………2,390,147円
- ・歳末たすけあい募金運動実績額……………1,214,650円
- ・無料法律相談(札幌弁護士会)……………開設12回、相談件数40件
- ・応急生活資金貸付件数……………39件
- ・生活福祉資金相談件数……………18件
- ・福祉関係団体助成……………10団体
- ・やさしい心でつなぐ地域支え合いシンポジウム……………130名
- ・くりやま防災講演会の開催協力
- ・老人クラブ連合会、ボランティア団体の事業に対する援助協力

2. 在宅福祉活動の充実

- ・日常生活自立支援事業(地域福祉権利擁護事業)……………6件
- ・車いす貸し出し事業……………29件、39台
- ・福祉の杖交付……………37本
- ・あったかサンタの贈り物……………10世帯
- ・いのちのバトン配付事業……………233本配付(累計617本)
22町内会、2町内連合会、12自治会
- ・栗山町からの受託事業
 - 1) 配食サービス事業……………32名延べ4,195食
※月～土曜日の昼食
(水・木・金は、78名の調理ボランティアの手作り弁当)
 - 2) 電話サービス事業……………10世帯
 - 3) 除雪サービス事業……………102世帯
 - 4) 障害者移動支援事業……………375回

3. ボランティア活動の推進

- ・話の聴き方講座……………15名
- ・夏休み体験ボランティア……………参加者18名延べ58名
- ・ボランティア研修会……………25名
- ・ボランティア団体育成援助……………7団体
- ・学校ボランティア活動普及推進事業援助……………栗山小学校、栗山高校

第36回花いっぱい運動

5月27日、町内・自治会や関係団体のご協力により、「花いっぱい運動」が開催されました。

各地域では、草取り・花植えなどの役割を分担し、公園や街路樹に花が植えられました。

26日には、花苗と肥料の仕分けをする作業ボランティアに栗山町ボランティア連絡協議会(藤田敦子会長)より26名のご協力をいただきました。



▲協力いただいたボランティアの皆さん

平成24年度社協事業計画・予算

3月23日の評議員会で平成24年度の事業計画と予算が決定いたしました。

1. 地域福祉活動の推進

- ・愛らぶ活動事業(社協補助事業)
- ・ふれあいサロン事業(社協補助事業)
- ・まちを美しくする花いっぱい運動
- ・ふれあい広場くりやまの開催
- ・知って得する福祉なんでも講座
- ・安心・安全・福祉のまちづくりセミナー開催
- ・自治区(まちづくり協議会)との連携
- ・高齢者福祉事業
(栗山町老人クラブ連合会の運営)
- ・児童福祉事業
- ・障がい者福祉事業
- ・共同募金・歳末たすけあい募金事業
- ・無料法律相談の開設(札幌弁護士会)
- ・社協だより発行
- ・民生・児童委員協議会との連携
- ・福祉関係団体支援
- ・地域福祉権利擁護支援

2. 在宅福祉サービスの推進

- ・栗山町からの受託事業
 - 食事サービス事業(毎週月～土曜日)
 - 障害者移動支援サービス事業
(毎週月～土曜日)
 - 除雪サービス事業
- ・電話・訪問サービス事業
- ・在宅サポーター活動事業(地域支え合い事業)
- ・命のバトン配付事業(無料)
- ・宅配電話帳配付事業
- ・家族介護者リフレッシュ事業
- ・ケアラー手帳配付事業

3. ボランティア活動の推進

- ・熟年人材センターの設置・運営
- ・ボランティアの発掘・育成
- ・学校ボランティア活動普及推進事業
- ・社会貢献事業(リングプル・ペットボトルのキャップ等の有効活用)

◆平成24年度予算

収入 (単位:円)	
会費収入	3,000,000
寄附金収入	1,000,000
補助金及び助成金収入	15,000,000
受託金収入	9,882,000
共同募金配分金	2,026,000
雑収入	50,000
前期末支払資金残高※	4,228,000
合計	35,186,000

※平成23年度決算の次期繰越活動収支差額より計上

支出 (単位:円)	
法人運営事業	17,989,000
調査企画広報事業	1,044,000
地域福祉活動事業	2,592,000
高齢者/障害者福祉事業	2,694,000
ボランティア活動事業	757,000
心配ごと相談事業	317,000
青少年福祉事業	66,000
在宅福祉サービス事業	9,727,000
合計	35,186,000



夏

休み体験ボランティア参加者募集！7月26日～8月17日

社協では、「やさしさ」や「気づかい」を育む夏休み体験ボランティアを実施します。体験したいメニューを選び、お気軽にご連絡ください。

1. 老人福祉施設

- 養護老人ホーム泉徳苑・デイサービスセンター
 - 受入時間 9:00～15:00
 - ※デイは16:00まで
 - 昼食 各自持参
- 特別養護老人ホームくりのさと
 - 受入時間 9:30～15:00
 - 昼食 各自持参(※310円で施設食)
- ガーデンハウスくりやま
 - 受入時間 10:00～15:00
 - 昼食 各自持参

※活動内容
利用者と一緒にレクリエーションやお話を通しての施設体験。

2. 配食サービス

- 活動場所 総合福祉センターしゃるる
- 受入曜日 水・木・金曜日
- 受入時間 8:30～13:00
- 昼食 調理した弁当(無料)
- 活動内容 弁当の調理と配送、回収した弁当箱の洗い作業。

3. 電話サービス

- 活動場所 総合福祉センターしゃるる
- 受入時間 9:00～12:00
- 活動内容 電話で高齢者の安否確認。

4. 知的しょうがい者授産施設ハロ-ENJOY

- 受入時間 10:00～16:00
- 昼食 各自持参
- 活動内容 利用者と一緒に作業等体験。

5. ワークセンター栗の木

- 受入時間 8:30～15:00
- 昼食 作ったパン
- 活動内容 利用者と一緒にパン作り。

6. 児童センター

- 受入時間 9:00～16:00
- 昼食 各自持参
- 活動内容 児童と遊びを通して体験。

7. 栗山いちい保育園

- 受入時間 9:00～16:00
- 昼食 給食代230円
- 活動内容 乳幼児のおむつ交換や園児との遊び。

8. 継立保育所

- 受入時間 9:00～16:00
- 昼食 給食代260円
- 活動内容 児童と遊びを通して体験。

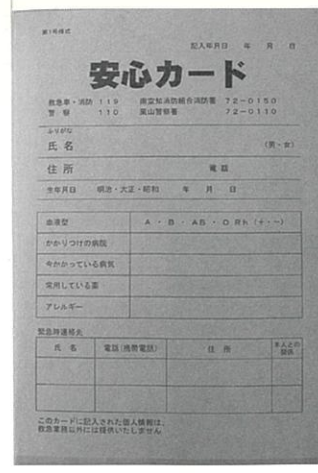


9. ペットボトルキャップ選別作業

- 日時 8月1日(水) 9:00～12:00
- 会場 総合福祉センター「しゃるる」
- 活動内容 老人クラブ会員とシールはがし等の選別作業。

【お申込・お問合せ先】

- ◆ 実施期間 7月26日(木)～8月17日(金) ※月～金曜日(土日を除く)
- ◆ 参加対象 中・高校生・専門学校生 大学生・興味のある方
- ◆ 参加費用 ボランティア活動保険加入料 280円 保育園・保育所は給食代
- ◆ 申込み 随時受付します。
- ◆ その他 事前のオリエンテーション有
- ◆ 申込み先 栗山町社会福祉協議会へ



安心カードは、**ど**のように活用しますか？

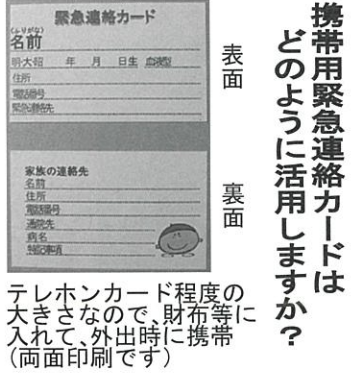
- かかりつけの病院 救急搬送時に第1優先される病院となります。
- 今かかっている病気に病気に関連して倒れているのか判断する助けになります。
- 常用している薬 病気に関連して、薬の飲み忘れや飲みすぎで倒れているのか判断する助けになります。
- アレルギー 抗生物質が使用できるか判断する助けになります。
- 家族等緊急連絡先 家族等への連絡先が必要な場合。

※これらの情報は病院にもお伝えいたします。



南空知消防組合消防署 救急救助係長 皆川 隆氏

これまで**「いのちのバトン」**は、**「いのちのバトン」**「配達事業とは？」
業は、高齢者、障がい者等に
対し、かかりつけの医療機
関、持病、緊急連絡先など
の救急時に必要な情報を冷
蔵庫に保管して、万一の緊
急時に備えることや安心・
安全にすぐせる支えあいの
地域づくりを目的として実
施しています。
申込みは町内会・自治会
を通じて、無料で配付して
あります。



「いのちのバトン」は
救急搬送の時に病院や家族への
連絡をスムーズにしてくれます！
救急救命士の活用方法を聞きました！

携帯用緊急連絡カードは、**ど**のように活用しますか？

- 外出先で体調を崩し、救急搬送する時
本人が会話をできない場合の身元確認に役立ちます。
- 通常は、その場にいる家族の方などから必要な情報を教えていただくのですが、友達しかいない時や本人も会話できない場合は、バトンを活用いたします。

「いのちのバトン」配達事業とは？

業は、高齢者、障がい者等に
対し、かかりつけの医療機
関、持病、緊急連絡先など
の救急時に必要な情報を冷
蔵庫に保管して、万一の緊
急時に備えることや安心・
安全にすぐせる支えあいの
地域づくりを目的として実
施しています。
申込みは町内会・自治会
を通じて、無料で配付して
あります。

◆いのちのバトン配付状況 (平成24年6月20日現在)

NO	町内会名	本数
1	松風第1	26本
2	松風第2	12本
3	松風本町	7本
4	松風第6	8本
5	松風第8	7本
6	松風第9	26本
7	6区	30本
8	7区	1本
9	9区	3本
10	10区	13本
11	12区	12本
12	南	28本
13	桜丘	5本
14	松栄	34本
15	ポプラ	15本

NO	町内会・自治会名	本数
16	中央	13本
17	朝日	50本
18	朝日4丁目	10本
19	中里団地	18本
20	ときわ	56本
21	ふじ団地	33本
22	みなみ中里	42本
23	青葉	1本
24	道栄	3本
25	富士	10本
26	中里	3本
27	湯地	26本
28	鳩山	20本
29	共和	12本
30	杵臼	1本

～ど

NO	自治会・連合町内会名	本数
31	旭台	19本
32	南学田	20本
33	御園	3本
34	南角田	8本
35	円山	3本
36	滝下	7本
37	角田第1	3本
38	角田第2	13本
39	角田第3	16本
40	角田第5	8本
41	角田曙	25本
42	継立	50本
配付本数合計		700本

ペットボトルキャップ収集活動 492Kg(196,800個)



老人クラブ連合会(西田 勉会長)が中心となって、行っているペットボトルキャップの収集活動ですが、平成23年度に収集した492Kg(196,800個)を北広島市にあるエコキャップ推進協会加盟の日本資源技術㈱に届けてきました。

1Kg(400個)当たり10円が途上国の子どもたちのワクチン(ポリオ等)となります。今後ともご協力をお願いいたします。

無料法律相談のご案内

社会福祉協議会は、法律でお悩みの方を対象に下記の要領で無料法律相談を開設しています。

また、日常の心配ごとや困りごとで相談を希望される方の対応もしておりますので、いつでもご連絡ください。

◇開設日時 7月20日(金)13時~16時
毎月第3金曜日に開設

※7月以降の開設日は、町広報にてお知らせいたします。

◇申し込み 事前に社協へ電話予約

※先着順とさせていただきます。

◇相談料金 無料

◇相談時間 おおむね20分程度

※あらかじめ相談内容をまとめ、必要な資料をご持参下さい。

◇開設場所 栗山町総合福祉センター
「しゃるる」

◇相談員 札幌弁護士会所属弁護士

「話の聴き方講座」のご案内

普段、なにげなく行われているコミュニケーションの中で、相手の気持ちに寄り添い、話に耳を傾け、受けとめる「話の聴き方」について理解を深め、傾聴活動が出来る方の養成を目的に開催します。

○日時・テーマ

◆1回目: 7月12日(木) 13:30~15:30
傾聴ボランティア活動とは?

◆2回目: 7月19日(木) 13:30~15:30
自分を知り、他者を知る
~コミュニケーションスキル~

◆3回目: 7月23日(月) 13:30~15:30
共感的傾聴、相手のニーズに応える

◆4回目: 7月31(火) 13:30~15:30
認知症・精神障がい者・高齢者のうつ、孤独について
コミュニケーションスキル、ロールプレー

◆5回目: 8月3日(金) 13:30~15:30
高齢者福祉施設で体験実習~総まとめ~

○会場 栗山町総合福祉センターしゃるる 研修室

○講師 松坂 志津枝氏
・シニア・ピア・カウンセラー
・心理療法カウンセラー1級

○定員 20名程度

○参加料 無料

○申込締切 7月10日(火)まで社協へ

ご厚志ありがとうございます

平成24年2月21日以降 平成24年6月20日までにお寄せいただいた方

●金一封

真木ことみファンの集い(松本 泰幸代表)様より
社会福祉事業へ

日置 正敏様(桜山)より 父の逝去に際して

青木 一夫様(杵臼)より 社会福祉事業へ

森 克己様(継立)より 父の逝去に際して

吉田 義人様(中里)より 母の逝去に際して

大西 美紀世様(中央3)より 母の逝去に際して

●物品

大西 美紀世様(中央3)より 車いす1台

※社協への寄附金は確定申告時の所得控除の対象になります。

平成24年7月1日発行(第87号)

発行: 社会福祉法人
栗山町社会福祉協議会

〒069-1513 栗山町朝日4丁目9番地36

栗山町総合福祉センター「しゃるる」1階

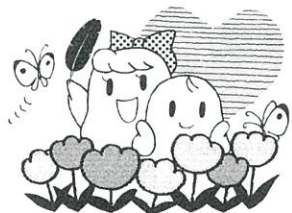
TEL (0123) 72-1322

FAX (0123) 72-5121

E-Mail k-shakyo@jeans.ocn.ne.jp

ky_sya@mssk.gr.jp

印刷: 山東印刷株式会社



愛ちゃん と 希望くん

社協だよりは、赤い羽根共同募金の助成を受け作成しています

編 集 後 記

最近行われたサッカーの試合は、予選と本戦の両方で、栗山町は2勝1分と好成績を挙げ、W杯出場を決めた。この結果は、栗山町にとって大きな励みとなる。栗山町は、今後もサッカーの普及と発展に努め、地域スポーツの活性化を図ってまいります。

中にならば、観戦していただく機会も増やしてまいります。ご来場の際は、ぜひお声かけください。

いよいよ、ユニフォームの更新が完了しました。ユニフォームは、ユニフォームの更新が完了しました。ユニフォームの更新が完了しました。

応援する気持ちは、みんな一緒！